

第 399 回 難研セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時：平成 19 年 11 月 19 日（月）18:00～20:00

場 所：難治疾患研究所〔駿河台地区〕1 階 会議室

演 者：森 泰生 教授

（京都大学大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 分子生物化学分野）

演 題：レドックス感受性 TRP チャネルと炎症

要 旨：Transient Receptor Potential タンパク質（TRP）は、受容体から phospholipase C（PLC）の活性化を介した Ca^{2+} 、脂質代謝物等の細胞内シグナル動員に応答し、細胞内への Ca^{2+} 流入を担うだけでなく、エネルギー・酸化還元（redox）状態、温度、プロトン、浸透圧等の物理化学的なパラメーターのセンサーとしても働くカチオンチャネル群であり、29 種類のホモログが 6 つのファミリー（M、C、V、A、ML、P）を構成している。我々は、高 redox 感受性 TRP チャネル群に着目し、それらの活性化機構と生理的意義に関する研究を進めてきた。特に、TRPM2 が活性酸素種（reactive oxygen species：ROS）を感知、活性化開口する、レドックス感受性 Ca^{2+} 透過型チャネルを形成し、細胞死を制御していることを示してきた（Hara, Mol. Cell, 2002）。本セミナーではこの TRPM2 に焦点を当て、炎症における生理的意義に関して最近得られたデータを中心に我々の研究を紹介したい。

連絡先：難治疾患研究所 生体情報薬理学 古川哲史（内線 8070）

共催分野：難治疾患研究所 分子代謝医学 小川佳宏（内線 8108）